



登美ヶ丘カトリッククラブ（ＴＣＣ）設立３０周年を迎えて

三 枝 賢 一

今年６月、私達が日頃大切にし、誇りにしております登美ヶ丘カトリッククラブ（ＴＣＣ）が設立３０周年の節目を迎えるに当たり、皆様と一緒に心からお慶び申し上げますとともに、ＴＣＣの名付けの親であり、終始ＴＣＣを温かく育てて下さり、１９９４年１２月１日ご逝去されましたグリーン神父をはじめ、ご関係者の方々に深く感謝いたします。

激変の時代の渦中で、ＴＣＣが幸い３０周年の節目を迎えることが出来るのは、グリーン神父、在奈オーストラリア・マリスト会の神父、幼稚園のシスターと先生、信者会、幼稚園のいずみの会の方々の格別のご厚情、ご指導の賜物であるとともに、歴代のＴＣＣの役員の方々の努力とメンバー各位の結束の賜物であると、ＴＣＣの一員としてこの上なく嬉しく、有難いことだと痛感しております。

ＴＣＣの設立日はＴＣＣ会則が設定された１９７５年６月１日であり、この日からＴＣＣがスタートした訳ですが、この日に『無から有を生じる』ようにＴＣＣが突如誕生したのではありません。

１９６９年春、グリーン神父が登美ヶ丘カトリック教会主任司祭・幼稚園長にご就任直後、グリーン神父のご指導で園児の父親の希望者を対象にして発足した英会話教室（木曜会と日曜会）がＴＣＣ誕生の種子となり、その芽はその後「グリーン会」（会長 故川島勝重氏）に育ち、一年余りのウオームアップの時期を経て前記７５年６月１日にＴＣＣと改称、新会則のもと継続発展的に再スタートした訳です。

このように、ＴＣＣはグリーン神父が命名して下さった名称の通り、教会・幼稚園を中心に「社会活動・趣味・娯楽・スポーツなど共通の目的を持つ人達の継続的な集まり」即ち『クラブ』として生まれ、類稀な真の『クラブ』として脈々と運営され、メンバーのこよなき集いの場・活動の場になっております。

下名のご挨拶の締め括りに、グリーン神父が「教会創立２５周年記念誌」に『ＴＣＣ発足に際して』と題して私達に遺して下さいましたお言葉の一部を謹んで掲げさせていただきます。

『私（神父）はＴＣＣの奉仕の精神、親切さ、家族への思いやり、兄弟愛、仲良くする精神、このようなＴＣＣの精神を心から誇りと思っております。

もしこういう素晴らしい精神をいつまでも守りとおすことが出来ればＴＣＣも幼稚園も素晴らしい発展を続けると思います。

古い人は新しい人に各クラブを通じてＴＣＣの本当の精神を引き継いで欲しいと思います』

この神父の親身溢れるお言葉を大事にして、今後もＴＣＣの発展に努め、ＴＣＣが常に私達の心の底から温まる楽しい集いの場・社会奉仕の場として末永く存続することを祈念いたします。

最後にグリーン神父に心からお礼を申し上げ、あわせて皆様方の益々のご多幸をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。